

目標達成計画

作成日: 令和2年 3月 18日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	45	入浴日をこちらで決めてしまっている。	決められた入浴日でなくても入浴できる事を伝え希望のある時は入浴できるように支援する。	朝のバイタル測定時の入浴のお誘いの声掛けをする。 希望あれば入浴手配するが毎日の入浴だったり、バイタルサインに異常がある時は体調を考慮し、しっかり説明し控えて頂く。	3ヶ月
2	39	着替えの衣類を職員が用意している時がある。	ご利用者様に衣類を選んでいただくことで季節感や、意思決定・判断能力の低下を防止する。	自身で決められなくとも、衣類を見せコミュニケーションを取ることを徹底。意思決定の難しい方には職員が選んだ衣類一式を確認して頂き、了承を得る。	3ヶ月
3	6	玄関・ユニットに施錠を行っている。	施錠をせずとも利用者様が安全に生活できる環境を整備する。 ユニット間をご利用者様が自由に行き来できるよう環境作り。	日常の中に解錠の時間を設け、利用者様の様子を見守る。利用者様の生活パターンをより深く把握することで解錠の時間を増やしていく。 転倒の危険のある方には必ず職員が付き添い見守り強化する。	ヶ月
4	4	運営推進会議にグループホームようざん八幡原の全利用者様家族に周知の連絡が出来ていない。	ご家族様の参加率を上げる事で介護サービスやグループホーム内での取り組みをより知ってもらう	運営推進会議実施の前月に全利用者様の家族にお知らせを出す。事業所から自宅に近い方は電話で直接お誘いする。	3ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。